

## インターハイ予選ベスト4進出！

2回戦 叡明 12-1 浦和商业  
3回戦 叡明 8-1 市立浦和  
4回戦 叡明 3-2 山村学園  
準決勝 叡明 1-6 星野

5月に行われた関東大会予選に続き、インターハイ予選でも創部以来初となる県ベスト4に進出しました。2回戦、3回戦は失点を喫したものの、初日という緊張や気負いはなく、打つべき球を捉えて得点を重ねることができました。

4回戦の山村学園高校戦は序盤に長打から先制を許し、追いかける展開となりました。相手投手のリズムを掴めず我慢の展開が続きましたが、中盤に長打で同点に迫ります。6回裏に連打でチャンスを作ると、次の打者が放った打球の処理の間に果敢な走塁で2点を奪取します。7回に1点を許すものの後続を打ち取り、接戦をものにしてベスト4進出を決めました。

準決勝では昨年11月の新人戦で6回コールド負けを喫した星野高校との再戦となりました。相手の見事な打撃で出塁を許すと、焦りから失策が続き、序盤に6点を失いました。コールド負けが頭をよぎってもおかしくない中で、選手たちは声と笑顔を絶やすことなく、必死に星野高校に食らいつきました。6回裏の守備の場面では2アウトながら得点圏にランナーを進められた中で、フライの処理に入ったレフトが芝生に足を取られ転倒し、万事休すかと思われましたが、膝をついたまま打球をつかみ取ります。執念でホームを守り続け、最終回までたどり着きました。最後の攻撃では1アウト後に5番打者がセンターの頭を越える三塁打を放ちます。続く打者の内野ゴロの処理の間に三塁ランナーがホームに突入し、タッチをかいくぐって1点をもぎ取りました。その後は打ち取られ、1-6で敗れはしましたが、整列した選手たちの背中にはやり切った誇らしさと充実感が見て取れました。

ベンチから絶えずチームを鼓舞し続けた選手や、最後までグラウンドでプレーした選手たちは文字通りチーム一丸となって戦いました。最後の大会でチームが成熟し、選手たちが勝ち取ったベスト4でした。またこの結果は保護者の皆様の献身的なサポートがなければ成しえなかった結果でもあります。最後までご息女をお支えいただき、また顧問にお預けいただいた保護者の皆様には感謝しかございません。ありがとうございました。

《みんなから愛されるチーム》《あきらめの悪いチーム》を見事に体現してくれた先輩たちの背中を追い、すでに新チームがスタートしています。引き続き叡明高等学校女子ソフトボール部をよろしく願いいたします。試合の様子や今後の練習会の日程などは本校公式Instagramをご覧ください。